

テーマ展

「新たな時代のうつわ―須恵器―」を開催します。

須恵器は、古墳時代中期（5世紀）に朝鮮半島からの技術の影響を受け、ロクロ上で形をつくり、窯で焼かれた硬い土器です。

香川県では、全国でも珍しい初期の須恵器を焼いた窯跡が2基見つかるなど、以前から大きな注目を集めてきました。

本展では、古墳時代中期における須恵器の生産やその特徴について、出土した初期の須恵器や窯跡の写真・パネルで紹介いたします。



県内で見つかった古墳時代中期の須恵器

1 会期

令和5年9月25日（月曜日）
～令和6年1月26日（金曜日）
9時～17時
休館日 土曜日、日曜日、祝日

2 会場

香川県埋蔵文化財センター
第1展示室
坂出市府中町南谷 5001-4
電話 0877-48-2191

3 観覧料

無料

4 展示資料

須恵器・韓式系土器・陶質土器・土師器59点・パネル14枚

5 主催

香川県埋蔵文化財センター



県内最古の須恵器窯 三谷三郎池西岸窯跡（高松市）